

令和6年度 新村文化祭・福祉ひろば祭り開催!!



新村の人口・世帯数	令和6年11月1日現在
世帯数	1,337 戸
男子	1,505 人
女子	1,598 人
合計	3,103 人



新村保育園5歳児ぞう組

11月2日・3日、「新村文化祭・福祉ひろば祭り」が開催されました。初日は雨となつてしまいましたが2日目には雨も止み、作品展示やステージ発表など、公民館サークルや小中学校、地域の団体の活動の成果が披露されました。

今年の文化祭は、『笑顔あふれる♪つどい♪わいわいわ!♪見つけよう♪!新村的宝人(たからもの)♪』をテーマに開催し、新村地区の宝があふれる文化祭となりました。



誠舟流吟道館



芝沢小学校金管バンド

高綱中学校吹奏楽部



ハーモニックC



新村コーラス



どんぐりの会



銭太鼓の会



作品展示

古墳時代から中世の新村の開發

11月2日文化祭特別企画として松本市文化財課 課長 田多井用章氏の講演会がありました。田多井氏は平成12年の新村遺跡発掘調査を担当されました。調査では以下のことが分かりました。①平安時代の前半(8世紀末～9世紀の後半)に小規模な集落が形成。②平安時代後半(10世紀後半～11世紀前半)の住居跡と建物が確認され、その周囲が溝で区画されていた。③11世紀後半～13世紀前半・11世紀前半に見られた「館」的な遺構は一旦途絶える。④13世紀後半～15世紀後半・市内最大規模の掘立柱建物が存在した。有力者の出現がうかがえる。13世紀後半から14世紀前半以降、条里的区画が形成されていたと考えられる。



あわせて下新出土の貞和3年(1347)の板碑についても説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

秋晴れの下の餅投げ

10月6日、第34回「ものぐさ太郎祭り」が開催されました。新村地区の伝承行事として毎年開催されてきました。

ものぐさ太郎伝承地で、太郎像への献花や合唱などを行い、児童センターにて、有志による「ものぐさ太郎音頭」の踊りも披露されました。

今年は5年ぶりに、児童センター・第2コムハウス・専称寺の3か所での餅投げが復活しました。

秋の気配を感じて

9月27日、ものぐさ大学「大人の社会見学」に23名が参加。長野市を訪ねました。

信州人に身近な食品会社「(株)みずすコーポレーション」を見学しました。

職員の案内と映像で会社紹介をしていただき、創業は明治35年と歴史ある企業とのこととです。



当日は油揚げの製造行程を見学。大掛かりな機械で操業され

餅投げと、子どもお楽しみ抽選会が行われ、多くの来場者で賑わい、子ども達も大人も、笑顔と活気に包まれました。

立身出世し故郷に錦を飾った太郎に思いを馳せながら、地元への愛着と住民同士の繋がりを深め、地域に元

気がもたらした楽しいお祭りになりました。



ていますが、製品管理には人も必要で不良品を素早く見つけて、良品だけを箱詰めしてしま

大豆は遺伝子組換えでない物を契約農家で栽培し使用しているとのこととです。徹底した廃棄物管理もされていて「資源環境型生産」を推進しているそうです。しかし品質管理のために製作した稲荷寿司を廃棄しているのは「もったいない」残念でした。

午後は水野美術館にて「怖いおばけ」展を鑑賞。

北斎・歌川国芳・月岡芳年などの恐ろしくも愛嬌のある浮世絵などに破顔。怨念に至る物語を知っているととっと楽しめると思われました。好評な社会見学でした。

第38回 梓乃森祭

10月19日・20日、松本大学にて梓乃森祭が開催されました。今年「インフイニティ」をテーマに、様々なイベントが行われました。模擬店や展示も多く出展され、例年にも増してより勢いのある梓乃森祭となりました。

1日目は、教育学部による子供向けイベントや軽音楽部によるライブ、ビンゴ大会などが行われました。お笑いライブでは、人気芸人のサンシャイン池崎さん、かが屋・フランツなどが出演し、会場は盛り上がりを見せました。

2日目は、学生企画のイベントや借り物ビンゴ、抽選会などが行われ、アーティストライブでは「水曜日のカンパネラ」が出演しました。後夜祭では花火が打ち上げられ、秋の夜空に大きな花を飾りました。

天候があまりすぐれなかったものの、2日間通して大勢の方に来場していただき、コロナ禍前の賑わいを戻しつつあると実感できま



にむら防災フェスティバル開催

10月13日、秋晴れの中「にむら防災フェスティバル2024」が開催されました。2回目となる今回は昨年度より多くの方が来場しました。

このイベントは、新村地区における防災訓練の側面を持つていて、避難所グッズ作りや、防災用品の展示・体験など、楽しく防災について学べるプログラムが含まれています。人気のはしご車搭乗体験や豚汁の提供に加え、今回は防災ミニ講義、応急給水体験も行われました。このほか新村地区での防災の取り組みに関する展示、コーヒ어의提供なども行われ、一定数のブースをめぐることで防災グッズがもらえるスタンプラリーも開催されました。蟻ヶ



崎高校書道部によるパフォーマンスでは「助け愛(助け合いの文字が表現されました。当日は子供連れの来場者の方も多く、若い方の防災への意識の高さを感じられました。地域全体で防災を意識し、取り組むことが、防災・減災への大切な一歩であると感じることができる機会



祝！軟式野球優勝！！

10月13日、第67回市民スポーツ大会「秋季大会」地区対抗競技が開催されました。新村地区はソフトバレーと軟式野球で参加し、ソフトバ

レーはT1180(シニア)の部で3位、フリーの部で2位、軟式野球は見事優勝を飾ることができました。

